

	「東アジア地域ガンカモ類重要生息地ネットワーク」 国内コーディネーター通信 News Letter of Anatidae National Coordinator-Japan	
東アジア・オーストラリア地域 フライウェイ・パートナーシップ The East Asian-Australasian Flyway Partnership (EAAFP)	No.204 2022 年 4 月号	ガンカモ類国内コーディネーター 神谷 要(公益財団法人中海水鳥国際交流基金財団) 〒683-0855 鳥取県米子市彦名新田 665 Tel 0859-24-6139 / Fax 0859-24-6140 E-mail: anet@sanmedia.or.jp

● 世界渡り鳥の日 2022

世界渡り鳥の日(WMBD)は、国連環境計画(UNEP)が定めた国際デーの一つです。渡り鳥が直面する脅威や、その生態的重要性保護、国際協力の必要性をアピールするための世界中でイベントが開催されます。今年は、2022 年 5 月 14 日(土)と 2022 年 10 月 8 日(土)に予定されています。この日の前後にぜひ各参加地でも世界渡り鳥の日に関するイベントを開催してください。

今年のテーマは「光害」です。公式スローガン「Dim the Lights for Birds at Night! (夜、鳥のために明かりを落とそう!)」とともに、人工的な光が渡り鳥に与える影響を考えてみましょう。

詳しくは事務局のホームページにて
<https://www.worldmigratorybirdday.org/>



WMB D 2022 のロゴ

● 本の紹介「ハクガンの復活物語」

2022/04/11 No.204	「東アジア地域ガンカモ類重要生息地ネットワーク」 国内コーディネーター通信	1/2
------------------------------	--	------------

東日本高速道路公団(株)東北支社仙台事務所より支援・協力を受けた雁の里親友の会より、「ハクガンの復活物語」構成・画:佐藤祐奈 監修:佐場野裕が発行されました。日本でのハクガンの復元活動について素敵な絵で紹介されています。雁の里親の友の会から各サイトに本の提供がありました。各サイトにお送りいたします。詳しくは、雁の里親友の会までお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先

雁の里親友の会

〒989-6315

宮城県大崎市三本木新沼字二又 159-1

E-mail: Foster_a_goose_2018@nifty.com



「ハクガンの復活物語」の表紙

●渡り鳥CEPAワーキンググループの勉強会

毎月開催している東アジア・オーストラリア地域
フライウェイ・パートナーシップ国内ネットワー
クの「渡り鳥 CEPA ワーキンググループ」の

「WATARIDORI 勉強会」では、各湿地の様子を報告
しています。今回は、戸荻 辰弥さん（NPO 法
人藤前干潟を守る会）です。

時間：2022 年 4 月 19 日 17:30～18:30

講師：戸荻 辰弥さん（NPO 法人藤前干潟を守る
会）

内容：飛来地紹介シリーズ「藤前干潟～ラムサ
ール条約登録 20 周年を迎えて～」



藤前干潟の風景

過去の報告は、Youtube チャンネル「EAAFP 国
内ネットワーク CEPA ワーキンググループ」でみ
ることができます。

[https://www.youtube.com/channel/UCxauw51L9k
od5tP4y0Y32g](https://www.youtube.com/channel/UCxauw51L9kod5tP4y0Y32g)

「渡り鳥 CEPA 部会 ホームページ」
[https://miyajimanuma.wixsite.com/
anatidaetoolbox/cepawg-japan](https://miyajimanuma.wixsite.com/anatidaetoolbox/cepawg-japan)

※ページ内の  のマークから、グループの
Facebook のページに入れます。

添付資料	
水鳥公園だより No. 289	1 部
「ハクガンの復活物語」構成・画： 佐藤祐奈 監修：佐場野裕 34pp	1 部

☆お願い

このニュースレターは、環境省令和 4 年度
EAAFP 事業推進業務の下、発行されています。皆
様の情報・資料・イベントチラシなど 50 部を国
内コーディネーター(米子水鳥公園:神谷)へまと
めてお送りいただければ、この通信に同封して各
地に配布いたします。

2022/04/11 No.204	「東アジア地域ガンカモ類重要生息地ネットワーク」 国内コーディネーター通信	2/2
----------------------	--	-----



「東アジア地域ガンカモ類重要生息地ネットワーク」
国内コーディネーター通信
News Letter of Anatidae National
Coordinator-Japan

東アジア・オーストラリア地域
フライウェイ・パートナーシップ
The East Asian-Australasian
Flyway Partnership (EAAFP)

No.205
2022 年
5 月号

ガンカモ類国内コーディネーター
神谷 要(公益財団法人中海水鳥国際交流基金財団)
〒683-0855 鳥取県米子市彦名新田 665
Tel 0859-24-6139 / Fax 0859-24-6140
E-mail: anet@sanmedia.or.jp

●生物多様性国家戦略を考えるフォーラム

2022 開催

生物多様性国家戦略を考えるフォーラム「自然とともに
～ネイチャーポジティブな農業への変革をめざして」
がオンラインで開催されました。「水田の生物多様性向
上の取り組み(呉地正行)」や「ポスト 2020 目標と新水
田目標 2030(金井 裕)」について報告があり、第 1 部
の事例報告の後、第 2 部では、「みんなが参加できる
行動事例を考えよう」と題してパネルディスカッション
がおこなわれました。

日 程:2022 年 4 月 20 日(水)18:00～20:00

主 催:国際自然保護連合日本委員会

運営団体:ラムサール・ネットワーク日本

詳しくは、「生物多様性国家戦略を考えるフォーラム
2022 2030<ネイチャーポジティブ>を目指し
て」のホームページをご覧ください。

<http://bd20.jp/nbsapforum2022/>

●本の配布「雁の道をたずねて」

地球環境基金より支援・協力を受け雁の里親友
の会より「雁の道をたずねて」が発行されました。雁
の里親の友の会から本の提供を頂きましたので、各
サイトにお送りいたします。詳しくは、雁の里親友の会
までお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先:

雁の里親友の会

〒989-6315

宮城県大崎市三本木新沼字二又 159

E-mail: Foster_a_goose_2018@nifty.com



●湖北野鳥センターでオリジナル野鳥トレカを
配布!

湖北野鳥センター(滋賀県長浜市)では、Golden
Bird Festivalとして、ゴールデンウィークの期間中(4
月 29 日～5 月 8 日)の間様々なイベントが開催さ
れました。その中でも、
SNS で湖北野鳥センターについて発信すると野鳥ト
レーディングカードがもらえる企画が好評で、話題と
なっています。

<http://www.biwa.ne.jp/nio/GBF.html>

2022/05/14
No.205

「東アジア地域ガンカモ類重要生息地ネットワーク」
国内コーディネーター通信

1/2



話題となってい湖北野鳥センターの野鳥トレカ



●渡り鳥CEPAワーキンググループの勉強会

毎月開催している東アジア・オーストラリア地域フライウェイ・パートナーシップ国内ネットワークの「渡り鳥CEPA ワーキンググループ」の「WATARIDORI 勉強会」では、各湿地の様子を報告しています。5 月は森口紗千子(日本獣医生命科学大学)さん、6 月は和田太一(南港野鳥園)です。

5 月 WATARIDORI 勉強会

～鳥インフルエンザ基本講座～

時 間: 2022 年 5 月 31 日 17:30～18:30

講 師: 森口紗千子(日本獣医生命科学大学)

内 容: 鳥インフルエンザについて

6 月 WATARIDORI 飛来地紹介

～大阪南港野鳥園～

時 間: 2022 年 6 月 21 日 17:30～18:30

講 師: 和田太一さん(NPO 法人南港ウェットランドグループ理事)

内 容: 南港野鳥園での活動について

WATARIDORI 勉強会参加希望者は、「渡り鳥 CEPA Facebook」

<https://www.facebook.com/groups/1124526767973999>

で参加方法をご確認ください。

過去の報告は、Youtube チャンネル「EAAFP 国内ネットワーク CEPA ワーキンググループ」でみるができます。

<https://www.youtube.com/channel/UCxauw51L9kod5tP4yOY32g>

添付資料	
水鳥公園だより No.290	1 部
書籍「雁の道をたずねて」	1 部

☆お願い

このニュースレターは、環境省令和3年度 EAAFP 事業推進業務の下、発行されています。皆様の情報・資料・イベントチラシなど 50 部を国内コーディネーター(米子水鳥公園・神谷)へまとめてお送りいただければ、この通信に同封して各地に配布いたします。



5 月の見どころ カルガモ親子

2022/05/14 No.205	「東アジア地域ガンカモ類重要生息地ネットワーク」 国内コーディネーター通信	2/2
----------------------	--	-----



「東アジア地域ガンカモ類重要生息地ネットワーク」
国内コーディネーター通信
News Letter of Anatidae National
Coordinator-Japan

東アジア・オーストラリア地域
フライウェイ・パートナーシップ
The East Asian-Australasian
Flyway Partnership (EAAFP)

No.206
2022 年
7 月号

ガンカモ類国内コーディネーター
神谷 要(公益財団法人中海水鳥国際交流基金財団)
〒683-0855 鳥取県米子市彦名新田 665
Tel 0859-24-6139 / Fax 0859-24-6140
E-mail: anet@sanmedia.or.jp

●呉地正行さんがラムサール条約の湿地保全賞を受賞!!

呉地正行さんがラムサール条約の湿地保全賞 ramsar-wetland-conservation-awards を受賞しました。ラムサール条約事務局の HP に 6 月 23 日に公表されています。受賞者は日本人としては中村玲子さん、辻井達一さんに続いて3人目です。

呉地さんは、東アジア・オーストラリア地域フライウェイと渡り鳥の保護に長期的に取り組み絶滅危惧種の鳥の回復に貢献しました。40 年以上にわたって湿地に生息し繁殖する渡り鳥の保護に尽力し、米国とロシアの研究者と協力して、複数の絶滅危惧種の鳥の回復を支援してきました。その努力のおかげで、日本に渡らなくなったいくつかの種が、現在日本で回復し始めました。近年は、東アジア・オーストラリア地域フライウェイの湿地保護活動に尽力しています。

さらに、呉地さんは、農業と持続可能な湿地保全との調和に貢献したことで称賛されています。2008 年に韓国の昌原で開催された第 10 回ラムサール条約締約国会議で、決議 X.31「湿地システムとしての水田の生物多様性の強化」の採択において起草グループの主要メンバーの 1 人として尽力しました。この決議は、水田を重要な湿地生態系として認め、**生物多様性の保全のために減農薬減化学肥料や無農薬無化学肥料を通じて慣行農法からの脱却に貢献しています**。そして、特に日本の北部のラムサール条約湿地である蕪栗沼で、水田の生物多様性を

高めるための献身的な努力を通じて決議 X.31 の実施を支援してきました。



写真 2010 年エカルマ島でのシジュウカラガンの最後の放鳥時の呉地さん

事務局のホームページより

<https://www.ramsar.org/news/winners-of-the-eighth-edition-of-the-ramsar-wetland-conservation-awards>

●台湾でクロハラアジサシから鳥インフルエンザ

5 月 23 日に台湾の花蓮クリークの海岸でクロハラアジサシなど野鳥の死体が多数回収されました。このうちクロハラアジサシと少数のメダイチドリ、オオメダイチドリの死体から、高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5N1 亜型)が検出されました。現在の国内の鳥インフルエンザ対応レベルは、対応レベル1(通常時)です。令和 4 年 6 月 16 日に 3 から 2 に引き下

2022/07/14
No.206

「東アジア地域ガンカモ類重要生息地ネットワーク」
国内コーディネーター通信

1/2

げ、令和4年6月21日に2から1に引き下げられています。

●渡り鳥CEPAワーキンググループの勉強会

毎月開催している東アジア・オーストラリア地域フライウェイ・パートナーシップ国内ネットワークの「渡り鳥CEPAワーキンググループ」の「WATARIDORI勉強会」では、各湿地の様子を報告しています。7月はバードリサーチの守屋による「シギチドリ特集」です。

7月 WATARIDORI 勉強会

～シギチドリ特集～シギチドリ観察のススメ

時 間:2022年7月23日 19:00～20:30

講 師:守屋年史(バードリサーチ)

内 容:シギチドリ特集

参加希望者は、

「渡り鳥CEPA Facebook」

<https://www.facebook.com/groups/1124526767973999>

で参加方法をご確認ください。

過去の報告は、Youtube チャンネル「EAAFP 国内ネットワークCEPAワーキンググループ」で視聴することができます。

<https://www.youtube.com/channel/UCxauw51L9kod5tP4yOY32g>

●今年の鳥学会は、11月開催！

今年の鳥学会は、11月に北海道網走市で開催されます。高校生(小中学生も可)部門の発表もあり、フライウェイオフィサーの牛山克己さんが企画担当をしています。ぜひ、参加をご検討ください。

会 期:2022年11月3日(木・祝)～6日(日)

会 場:網走市民会館(11/3)

東京農業大学生産学部(11/4-6)

受付期間:2022年8月5日(金)～9月15日(木)

ただし、一般講演と自由集会開催の申

し込み締め切りは8月25日(木)です。

申込方法:事前に送金後、大会参加申し込みサイトから

鳥学会申し込みホームページ

<https://osj2022.ornithology.jp/#kokokikaku>

●「中海周辺の水草展」

中海周辺に生息する水草を水槽に展示してご紹介します。普段見られない水の中の様子を知ることができます。

期 間:2022年7月23日(土)～8月24日(水)

会 場:水鳥公園ネイチャーセンター観察ホール

※チラシ同封いたします。

共 催:中海水鳥国際交流基金・みなもかん



展示の様子

写真提供:みなもかん

添付資料	
水鳥公園だより No.291	1部
「中海周辺の水草展」チラシ	1部
福島潟だより	1部
しめっち通信 7号	1部

☆お願い

このニュースレターは、環境省令和4年度EAAFP事業推進業務の下、発行されています。皆様の情報・資料・イベントチラシなど50部を国内コーディネーター(米子水鳥公園:神谷)へまとめてお送りいただければ、この通信に同封して各地に配布いたします。

2022/07/14 No.206	「東アジア地域ガンカモ類重要生息地ネットワーク」 国内コーディネーター通信	2/2
----------------------	--	-----



「東アジア地域ガンカモ類重要生息地ネットワーク」
国内コーディネーター通信
News Letter of Anatidae National
Coordinator-Japan

東アジア・オーストラリア地域
フライウェイ・パートナーシップ
The East Asian-Australasian
Flyway Partnership (EAAFP)

No.207
2022 年
10 月号

ガンカモ類国内コーディネーター
神谷 要(公益財団法人中海水鳥国際交流基金財団)
〒683-0855 鳥取県米子市彦名新田 665
Tel 0859-24-6139 / Fax 0859-24-6140
E-mail: anet@sanmedia.or.jp

●鳥インフルエンザ 警戒レベル3へ

令和4年9月25日(日)に神奈川県伊勢原市でハヤブサ1羽の衰弱個体が回収され、後日高病原性鳥インフルエンザが確認されました。続いて、令和4年10月4日(火)には宮城県栗原市でマガン1羽の死亡個体が回収され、こちらも高病原性鳥インフルエンザと確認されました。

国内複数箇所で大病原性鳥インフルエンザの発生が確認されたことから、野鳥サーベイランスにおける全国の対応レベルが令和4年10月7日(金)付けで「対応レベル3」に引き上げられています。

各サイトで死体回収時などの対応の参考にしてください。各段階における個体数は、下記のページを参考にしてください。

・野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル

https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/manual/pref_0809.html



米子水鳥公園に設置している踏み込み槽

●日本鳥学会三年ぶりに対面で開催

日本鳥学会 2022 年大会(東京農業大学北海道オホーツクキャンパス・網走市)が、令和4年11月4日～6日に3年ぶりに対面で開催されます。大会の参加には参加費が必要です。

また、11月3日(木・祝)16:30～19:15には、網走市民会館にて「公開シンポジウム 流水がくる海～オホーツクの海と生き物たち」が開催されます。こちらは、小学校高学年以上のどなたでも、申し込み不要で聴講できますので、お近くの方はぜひご参加ください。

●今年も日本鳥学会でガンカモ自由集会開催!!

日本鳥学会 2022 大会で大会中にガンカモ自由集会 JOGA26 を開催します。大会に参加されます方はぜひお越しください。

タイトル:W05 JOGA 第26回集会「北海道におけるガン・ハクチョウ類の増加と課題」

日 程:令和4年11月6日 11:45-13:45

責 任 者:長谷部真(サロベツエコ)・神山和夫(バードリサーチ)・田尻浩伸(日本野鳥の会)

会 場:東京農業大学北海道オホーツクキャンパス

詳しくは、東アジア・オーストラリア地域渡り性水鳥重要生息地ネットワーク(ガンカモ類)支援・鳥類学

研究者グループ JOGA のホームページに掲載されます。<http://www.jawgp.org/anet/jgprop.htm>



JOGAのシンボルマーク

●各地のガン・ハクチョウ類の初認

ガンカモ類重要生息地ネットワークのメーリングリスト (Janet4) では、ガンカモ類の飛来情報を共有しています。Janet4i に投稿された今シーズンの初飛来日の情報を紹介します。ネットワークサイトのみ抜粋

マガン・ヒシクイ (羽)

9 月 4 日	サロベツ湿原 (兜沼)	オオヒシクイ 2
9 月 4 日	濤沸湖	ヒシクイ 6
9 月 14 日	ウトナイ湖	オオヒシクイ 6 ※マガン 9/16
9 月 14 日	宮島沼	マガン 5 ※ オオヒシクイ 9/15
9 月 21 日	片野鴨池	マガン 1
9 月 29 日	福島潟	マガン 2 ※オオヒシクイ 10/5
10 月 1 日	米子水鳥公園	マガン 2
10 月 6 日	琵琶湖	オオヒシクイ 6

ハクチョウ類 (羽)

10 月 5 日	クツチャロ湖	コハクチョウ 2
10 月 5 日	福島潟	コハクチョウ 6
10 月 6 日	迫川(伊豆沼 周辺)	コハクチョウ 11
10 月 6 日	濤沸湖	ハクチョウ類 3

10 月 8 日	辺寒辺牛湿原	オオハクチョウ 3
10 月 9 日	米子水鳥公園	コハクチョウ 7
10 月 10 日	琵琶湖	コハクチョウ 1

※Janet4 への参加希望者は、このニュースレターの発行者でコーディネーターの神谷までご連絡ください。

●前号の訂正

206 号の「呉地正行さんがラムサール条約の湿地保全賞を受賞!!」の記事で誤りがありました。1 ページ目の左側 23 行目～24 行目を訂正いたします。

訂正前	慣行農法を通じて生物多様性保全の主流化に貢献しています。
訂正後	農業・化学肥料に依存し環境負荷が大きい慣行農法を、これらに依存せずに、生きものの力を活かし環境負荷が少ない農法への変更を働きかけ、生物多様性の主流化に貢献しています。

※また、呉地正行氏が会長を務める「日本雁を保護する会」が第22回山階芳麿賞(山階鳥類研究所)を受賞し、記念シンポジウム 9 月 23 日(金・祝)で報告を行っています。併せてお祝い申し上げます。

☆お願い

このニュースレターは、環境省令和4年度 EAAFP 事業推進業務の下、発行されています。皆様の情報・資料・イベントチラシなど 50 部を国内コーディネーター(米子水鳥公園:神谷)へまとめてお送りいただければ、この通信に同封して各地に配布いたします。

添付資料	
水鳥公園だより No.292～294 米子水鳥公園令和 3 年度報告書	各一部
彦名水鳥ウォーク チラシ	一部
福島潟 2022 年 秋・冬号	一部

2022/10/19 No.207	「東アジア地域ガンカモ類重要生息地ネットワーク」 国内コーディネーター通信	2/2
----------------------	--	-----



「東アジア地域ガンカモ類重要生息地ネットワーク」
国内コーディネーター通信
News Letter of Anatidae National
Coordinator-Japan

東アジア・オーストラリア地域
フライウェイ・パートナーシップ
The East Asian-Australasian
Flyway Partnership (EAAFP)

No.208
2022 年
11 月号

ガンカモ類国内コーディネーター
神谷 要(公益財団法人中海水鳥国際交流基金財団)
〒683-0855 鳥取県米子市彦名新田 665
Tel 0859-24-6139 / Fax 0859-24-6140
E-mail: anet@sanmedia.or.jp

●渡り鳥CEPAワーキンググループの勉強会

毎月開催している、東アジア・オーストラリア地域フライウェイ・パートナーシップ国内ネットワークの「渡り鳥CEPAワーキンググループ WATARIDORI 勉強会」は、11月には宮島沼のラムサール条約登録20周年記念イベントの配信とします。ぜひご覧ください。



日 程:2022 年 11 月 20 日(日)13:00-14:45

会 場:アルテピアッツア美唄アートスペース
(旧体育館)

Youtube にて配信されます。

<https://www.youtube.com/watch?v=IRx31ub0c2A>

宮島沼は、2002 年 11 月 18 日、国際的に重要な湿地としてラムサール条約に登録されました。毎年春と秋に数万羽のマガンが飛来し、季節の風物詩として多くの方々に愛されています。そんな宮島沼の自然の魅力と価値、直面している課題、未来に残していく姿とは... トークとミュージカルを通じてお伝えします!

次回は、12 月 8 日(木)17 時半から、『宗谷の魅力を伝えたい!一地域資源を活かす自然ガイドを目指して』と題して、嶋崎 暁啓(ポラリス・ネイチャーガイド&コンサルタント)さんのお話しです。

WATARIDORI 勉強会参加希望者は、
「渡り鳥CEPA Facebook」を確認ください。
<https://www.facebook.com/groups/1124526767973999>

●今年も日本鳥学会でガンカモ自由集会-報告

日本鳥学会 2022 大会でガンカモ自由集会 JOGA26 を開催しました。各発表の要旨については、東アジア・オーストラリア地域渡り性水鳥重要生息地ネットワーク(ガンカモ類)支援・鳥類学研究者グループ JOGA のホームページに掲載されています。ぜひご覧ください。

タイトル:W05 JOGA 第 26 回集会「北海道におけるガン・ハクチョウ類の増加と課題」

日 程:令和 4 年 11 月 6 日 11:45-13:45
責任者:長谷部真(サロベツエコ)・神山和夫(バードリサーチ)・田尻浩伸(日本野鳥の会)
会 場:東京農業大学北海道オホーツクキャンパス
JOGA ホームページ:
<http://www.jawgp.org/anet/jgprop.htm>

来年の日本鳥学会は、石川県金沢市で開催予定です。自由集会 JOGA の開催も計画しています。

2022/11/14
No.208

「東アジア地域ガンカモ類重要生息地ネットワーク」
国内コーディネーター通信

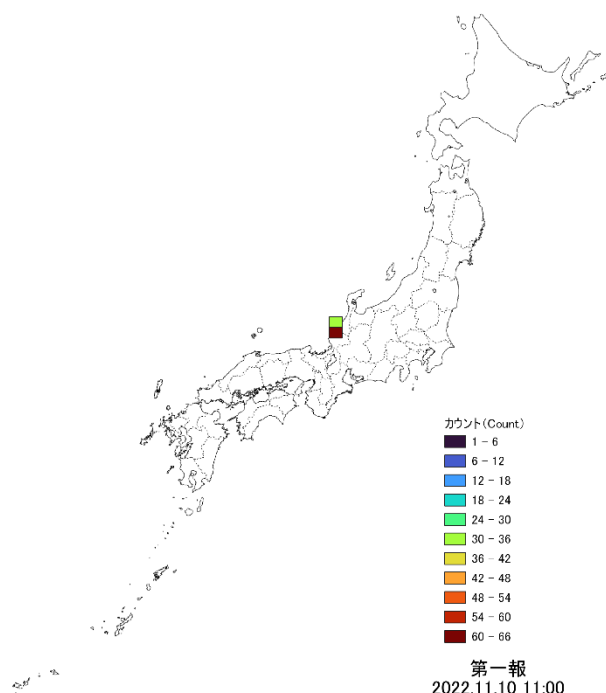
1/2

●トモエガモ全国調査へのご協力をお願い!

片野鴨池観察館では、トモエガモ全国調査を行います。お近くにトモエガモがいる方は、お手すきの際にカウントして観察館までお知らせください。提供いただいたデータは、観察館の特設ページの地図で随時更新させていただく予定です。皆様のご参加をお待ちしています。



トモエガモ全国調査
へのご協力をお願いします
11月～3月の各月
10日～19日の間にカウント
羽数・地点・日時・観察者
を、下記アドレスへご連絡ください
tomoegamo@teamkamoike.com
※お問い合わせもこちらまで



記録は、下記のメールアドレスに、トモエガモの羽数、観察場所、日時、観察者名、報告者名を書いてお送りください。

メールアドレス:tomoegamo@teamkamoike.com

●ラムサール条約国会議で授賞式

2022年11月7日に、本ネットワーク議長である呉地正行氏のラムサール賞の授賞式が、ジュネーブで開催されたラムサール条約締約国会議 COP14 で行われました。

●高病原性鳥インフルエンザ発生状況

令和4年度に入り、国内で野鳥から既に13例の高病原性鳥インフルエンザが確認されています（令和4年11月10日現在）。オオハクチョウ、マガン、ハヤブサ、ナベヅルなど、様々な種群から確認されています。各地でも警戒に努めてください。最新の情報は、環境省の高病原性鳥インフルエンザに関する情報に関するページをご覧ください。

https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/

☆お願い

このニュースレターは、環境省令和4年度 EAAFP 事業推進業務の下、発行されています。皆様の情報・資料・イベントチラシなど50部を国内コーディネーター（米子水鳥公園：神谷）へまとめてお送りいただければ、この通信に同封して各地に配布いたします。また、ガンカモ類重要生息地ネットワークのメーリングリスト（Janet4）への参加希望者は、このニュースレターの発行者でコーディネーターの神谷までご連絡ください。

添付資料	
水鳥公園だより No.295 宍道湖グリーンパーク・米子水鳥公園 共同企画 スタンプラリー・チラシ	一部
彦名水鳥ウォーク チラシ	一部
米子水鳥公園 2023 年 カレンダー	一部

2022/11/14 No.208	「東アジア地域ガンカモ類重要生息地ネットワーク」 国内コーディネーター通信	2/2
----------------------	--	-----

	「東アジア地域ガンカモ類重要生息地ネットワーク」 国内コーディネーター通信 News Letter of Anatidae National Coordinator-Japan	
東アジア・オーストラリア地域 フライウェイ・パートナーシップ The East Asian-Australasian Flyway Partnership (EAAFP)	No.209 2023 年 1 月号	ガンカモ類国内コーディネーター 神谷 要(公益財団法人中海水鳥国際交流基金財団) 〒683-0855 鳥取県米子市彦名新田 665 Tel 0859-24-6139 / Fax 0859-24-6140 E-mail: anet@sanmedia.or.jp

●世界渡り鳥の日 2023

2月2日は、1971年にラムサール条約が締結されたことを記念して「世界湿地の日」とされています。世界湿地の日は毎年テーマが決められており、今年は「今こそ湿地の回復を！」です。条約事務局は、この日前後に各湿地に関するイベントを開催することを呼びかけしています。もしイベントを開催された場合は、条約事務局のホームページにご登録ください。

<https://www.worldwetlandsday.org/>



また、条約事務局のサイトでは世界湿地の日に利用できそうな資料を公開しています。こちらでもぜひ、ご覧ください。資料の中でもテーマの趣旨を伝えやすいのは「Communication Resources」内の「Power Point Presentation」です。京都の須川恒氏が、英語の説明に日本語訳をつけたものを制作し、公開

されています。ぜひご利用ください。

https://www.dropbox.com/s/mjrec6kdufw4uic/WWD2023_English%20Japanese.pptx?dl=0



湿地の日のポスター日本語版

●渡り性水鳥フライウェイ全国会議開催!

2021年にオンラインで開催しました「渡り性水鳥フライウェイ全国大会」について、今年は、下記のとおり開催されます。

日時：2023年1月27日（金）14:00～
1月28日（土）12:00

内容：演形式での発表（オンライン・対面併用開催）・谷津干潟（千葉県習志野市）における現地視察

関係自治体・関係 NGO には、ご案内の文書をお送りしています。

2023/01/12 No.208	「東アジア地域ガンカモ類重要生息地ネットワーク」 国内コーディネーター通信	1/2
------------------------------	--	------------

●ガン類国際シンポジウム

宮城県栗原市に国内外のガン類の専門家が集まり国際シンポジウムが開催されます。YouTube にて講演の配信もあります。ぜひご覧ください。

日時：2023 年 1 月 28 日（土）

10:00～16:30

場所：はさま会館（栗原市若柳川南南大通）

入場：無料

定員：100 名言行

支援：経団連自然保護基金、地球環境基金、津戸基金

プログラム（予定）：

基調講演「東アジアにおけるガン類の保全管理に向けて～科学的知見と枠組み～」 David Ward (U.S. Geological Survey)

セッション「日本の雁」

セッション「東アジアの雁」

配信チャンネル：

EAAFP 国内ネットワーク CEPA ワーキンググループ

<https://youtu.be/dlG9i3ljv5I>

●モニタリングサイト 1000 ガンカモ類調査講習会 2022

石川県加賀市の片野鴨池で開催された、ガンカモ調査の講習会の様子が配信されています。ガンカモ類の調査のことなど、とても興味深い内容となっています。

日時：2022 年 12 月 22 日（配信）

プログラム：

モニタリングサイト 1000 について

ガンカモ調査座談会

ガンカモのカウント調査のコツ

トモエガモ全国調査の中間報告

配信チャンネル：

NPO 法人バードリ・サーチ

<https://youtu.be/ULqwlB7mQZY>

●ハクガン、ヒシクイ(亜種オオヒシクイ)への発信器・標識装着について

日本雁を保護する会・山階鳥類研究所・秋田県立大学・雁の里親友の会・EAAFP ガンカモ類作業部会国内科学技術委員会が、2022 年 11-12 月に秋田県大湯村でガン類の捕獲・標識調査を行い、ハクガン 2 羽、ヒシクイ（亜種オオヒシクイ）2 羽の捕獲に成功しました。

捕獲・放鳥された個体には、金属製の環境省の足環と発信器、または首環標識が装着されています。添付書類をご覧ください。

また、発信機・首輪標識されたガンカモ類については、ガン・カモ・ハクチョウの国内標識 DB(データベース)に情報がまとめられています。こちらをご覧ください。

<https://miyajimanuma.wixsite.com/anatidaetoolbox/post/colormarking>

☆お願い

このニュースレターは、環境省令和 4 年度 EAAFP 事業推進業務の下、発行されています。皆様の情報・資料・イベントチラシなど 50 部を国内コーディネーター(米子水鳥公園:神谷)へまとめてお送りいただければ、この通信に同封して各地に配布いたします。また、ガンカモ類重要生息地ネットワークのメーリングリスト(Janet4)への参加希望者は、このニュースレターの発行者でコーディネーターの神谷までご連絡ください。

添付資料

水鳥公園だより No.296

ハクガン・ヒシクイ(亜種オオヒシクイ)への発信機・標識装着について